

京都大学 若手職員 のホンネ



…法人化後採用職員
100人（くらい）に
きいてみました。

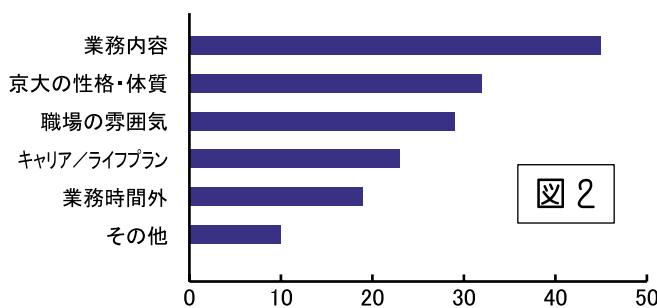
Q.1 京都大学を志望した理由

京大を就職先に選んだ理由で1番回答数が多かったのは、やはり業務内容でした（図1）。「他大学に比べ、様々な分野の業務があつたため」などのように、京大だからこそできる仕事に惹かれた職員が多いようです。次いで立地環境。京都という土地も大きな魅力のようです。3番目の待遇・福利厚生は、「結婚後も現実的に働いていけるかどうか」など、女性からの意見が集まりました。他には、「卒業生なので大学に恩返ししたい」というコメントも。また、選択肢を複数選んだ回答が多く、様々な側面から京大を選んでいるようです。

Q.2 京大に入って感じたギャップ

京大に就職する前後で感じたギャップで1番回答数が多かったのは、業務内容でした（図2）。「大学職員にこれほど多種多様な仕事があるとは思わなかった」と、想像以上の業務の幅広さに驚きのコメントが寄せられました。また、「大学職員といつても直接学生と関わることのない仕事が多い」というコメントも多く、大学を支える大学職員の実際の仕事は、外からは見えにくいようです。

京都大学自体については、「認識していた以上に組織が大きく複雑」と巨大な組織に対するギャップがある一方、「若手勉強会が定期的／



Q.3 仕事上必要な資格

現在持っている資格と、これから取得したい・現在取得中・業務に必要だと思われる資格について答えてもらいました。アンケート回答を平均してみると、現在持っているTOEICスコアは650、将来的には740程度が必要、簿記については2級程度が必要と考えている職員が多数を占めました。Word・Excelの基礎知識は全職種で必須のよう、業務によつてはそれ以上のもの(access・システム・セキュア等)が必要となる場合もあるようです。また、技術職員に関しては、自己の専門分野に関連する資格を数多く保持しており、更なる上位資格取得を目指している方が多く見受けられました。他にも、京大の職務の幅広さのためか、多種多様な専門資格や法律等の知識が必要との意見も寄せられ、その多くは現在の業務への向上心からくるようです。

ウラから見えてくる「京大」という職場

●法人化後採用職員の構成

性別	男性	48人	女性	97人	事務
				29人	技術
				7人	図書

●京大就職前の職歴の有無(上段)

京大就職時の年齢(下段)

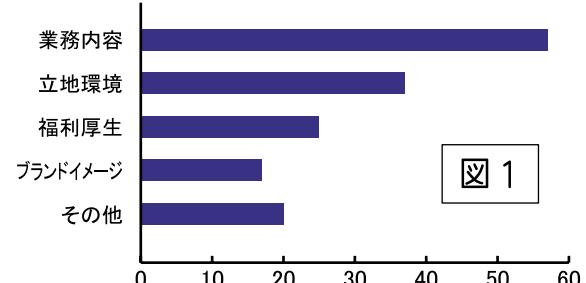
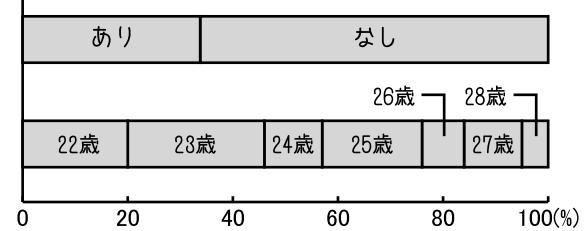


図1

に開かれ、熱心な職員が多い」ように、溢れる向上心も京大職員的一面です。

職場の雰囲気・人間関係については、「思っていたよりも明るい雰囲気」と、国立大学というお堅いイメージよりも、和気あいあいとした職場！

ライフ・キャリアプランの項目では、「年休・産休・育休がきちんと取れる」「思っていたよりも学外研修や海外研修などの機会が多く、色々な可能性が提示されている」などのコメントが寄せられました。京大には職員の人生の各ステージに対する様々なサポートが用意されています。

仕事以外の時間については、「昼休みに運動している人が多い」「趣味のある人が多いので、自分でも趣味をしやすい」といったように、昼休み・仕事後の時間をうまく活用してリフレッシュしている職員が多いようです。

Q.4 就職先としての京大の点数は？

